

刊夕 日一卅月七

# 常磐毎日新聞

定価 一月五円 三月十五円 半年三十円 一年六十円  
 印刷部 常磐毎日新聞株式会社  
 電話 六三〇番  
 発行所 常磐毎日新聞株式会社  
 印刷所 常磐毎日新聞株式会社

## 獨乙へ向ふ (六)

彫刻家本多朝忠氏令妹

碧女出身 本多サノ

古代埃及人の崇拜した日の神ハルマチスの像で、人首は智徳を獸身は体力を表徴したものとが建立以來幾度か存亡を繰り返したものを國王トヌヌス四世が靈夢によつて發掘したとかです。像の長さは百五十呎高さ七十呎、巨大な天然の岩石に彫刻を施したもので、建設當時頭上に或る裝飾があり、顔面は朱色に塗つてあつたと遠く凝視してゐる眼差と其の微笑を含む口附とは恰も永遠に解き得ない人生の謎を象徴してゐる様に見えます。

回々教寺院もピラミットにおとらぬ雄大なものです(二月廿七日)三月一日がナポリ上陸でそろ／＼準備で多忙です。先づ明後日は無事ナポリに上陸するでせう。ナポリに一日ローマに四日、フロレンスに一日、ベニスに一日見物は右の様な日程です御安心下さい。長い間海の水を見ておりましたら、其美しさに心うたれ沙及の代りに潮ウシオと改名しました。お笑ひ下さい。

第七信

三月一日ナポリに上陸致しました。二日にボンベイを見物いたしました。ローマに参りました。今日迄五日間ローマの有名な所は残さず見物いたしました。美術の國だけあつて美しいとか立派であるとか申上げて日本におつては想像出来ない様なせのばかりです。美術家等は是非一度はこの國を訪ふべきであると痛切に感じました。明日フロレンスに参り、それからベニスを見物いたし、ベルリンに参ります。母上始め皆々様に宜しく、ローマにて。

★○○○○○○○○○  
 ○明日の献立○  
 ◎○○○○○○○○○◎

【朝】紅茶 カステラ 玉子やき  
 【晝】蓮根 細いんげんごま合へ  
 【晩】清汁 玉子 豆腐 若芽 蒲やき うなぎ 粉山椒

第八信

十一日にベルリンに入りました。マアやれ／＼と思つてぐつすり眠り込みました。これからゆつくり方々見物いたします。取り敢へず安着御通知まで、柏林にて。

第九信

其後は皆様お變りは御座いませんか御伺ひいたします。こゝに着して八日になり少々落付きました。着いた當時は大分寒かつたけれど、昨日から暖になつてホツトいたしました。何しろローマの美しい都を見てきたので、この大都會をみて大して美しい町と思ひません。ローマは暖であつた上に街路樹も青々として景色が丁度日本の秋の様に實に美しい色をしておりまし

だ。町は到る處噴水と大理石の彫刻で飾られて藝術の都に聴く美しい所でした。ベニスからミュンヘンに入る汽車の中で色々検査がありました。國境をかてした其邊から山一面の雪でした。ミュンヘンではスキーをかついた人々が澤山歩いておりました。三校の先生の案内で世界でも有名な科學博物館をみました。その様子の大きいのは驚きました。種々科學に關する物が陳列されてあり、全部よく見るには一年もかかるかと思はれました。

## 上田病院

平野 南町

電話二二五番

## 自轉車は左記

有名車を御撰擇下さい

世界的ニ進出セル

◎宮田ノ自轉車

◎ゼブラノ自轉車

◎マーツ號自轉車

◎實用經濟車トシテ好評アル

◎マーツ號の好評をねたみ羊頭狗肉の策を用ひ偽物を販賣なし商標を侵害なしつゝある者あり法的解決により御得意様の御了解を得ん

宮田代理店

ゼブラ代理店

マーツ代理店

エビスヤ商店

電話六六四

## 御位牌と品よく

## 佛壇佛具

平新川町

橋本屋

電話一六三

## 製氷おた福豆

アイスクリーム あづきアイス ミルクケーキ  
 クリームソーダ水 氷あづき ソーダ水色々  
 冷コーヒー みつ豆

御土産にクリームもなか

ほどよく香りのよい

宇治名産氷ひき茶を

初めました、何卒御試食下さる様……

## 平ニ警察署通り

## 魚清食堂

電話六三二

## 新益用佛壇具ト位牌ハ

## 山光堂佛具店へ

平四丁目局前

造花博士 花信

電話五五〇番

祖先崇拜ハ家庭繁榮ノ礎!!!

毎度御引立を戴いてゐる

藤寅では例年通り

冷タイ美味しい飲物

アイスクリーム アツキアイス

ミルクケーキ ソーダ水

ミツ豆 クリームソーダ

其他氷水各種

めました是非夏の夕の御散歩

歸へりに御立寄り下さい

平一丁目

迅速

## 不夜天

電話一四一番

## 増車御披露

陸の王者として定評ある流線型ダツチ  
 プラザース二輛増車致しました。タク  
 シーの御使用の際は新車揃の尼子タク  
 シーに御用命を御待致して居ります。  
 大型貸切専門車も御座います。

## 尼子タクシー

電話六四

## 丹野齒科醫院

丹野 淳夫

電話三三三番

### 國勢調査

#### 委員任命

#### 来る四日に

#### 辭令傳達式

平町には四十九名

今秋執行される平町國勢調査の調査委員は去る廿七日付を以て伊藤知事より任命されたので平町では八月四日午前八時から第三小學校講堂に於いて委員の辭令交付式を舉行し午後から直ちに指導訓練會を開くと委員は左の如く四十九名である

- 小野園次郎 川角兼吉
- 大谷要次郎 木澤常松
- 青天日源一郎 水竹泰助
- 石坂詮太郎 鈴木義雄
- 梅原利三郎 松本愛三
- 山部政治 長小次郎 長瀬富彌 阿部傳六 酒井政之助 青木秀次 山崎元三郎 小野禎 諸橋敬一郎 古田部春吉 小溝仁助 赤塚勇吉 小野金太郎 有賀幸太郎 吉田鎮政 南波正 岡田千藏 鈴木定一 佐藤榮吉 西部國太 五十嵐小平 色川勝三郎 瀨尾善之進 石澤茂 鈴木菊彌 鈴木廣成 鍋田三重 根本一馬 山本龍三郎 佐藤伊太郎 松本新次郎 鈴木尤 山野邊達倅 須藤鶴之助 渡邊佐七 松本充弘 山岸清水

### 鋪裝道路に

#### 盆焚火は禁物

#### 折角の路面が滅茶々々

平町市街の鋪裝は既に一丁目から四丁目迄の國道、新田町其他の一部道路の近代美を誇つて居るが舊盆に際し鋪裝の上に火を焚かれては折角の路面も溶解して滅茶々々にされる懼れがあるので昨年来鋪裝道路には焚火を禁じて居るが永年の習慣から勵行せぬ向もあるので本年は絶対に焚かぬ様近く關係區長を通じて注意すると

### 尾瀬探勝

#### 尾瀬沼畔にて

平を廿三日の朝六時に立ち南會津郡田島町に來て一泊駒止峠を自動車で山口に越徒歩で四里大挑で一泊、翌三里檜枝岐村に來て二泊、二十七日沼山峠を越えては

迄縣立矢吹ヶ原修練農場に開かれる縣主催經濟更生指導者講習會の出席者を選衝中の處左記十氏に決定した大野横田正夫 鹿島猪狩儀三郎 同志賀直哉 四

倉小林瀧夫 平窪中村敬治 渡邊吉井定雄 神谷高橋市作 山田原理之助 好間鈴木振彌 泉吉田勝記

### 盆の小遣錢を

#### 縁ざ出す工事

明日から郡内一齊に

#### 愈よ開始

平土木監督所計劃の本年度凶作対策工事のうち本井一日縣から許可の指令に接したのは鹿島、植田、山田、川部、勿來、飯野等の道路改修工事で一町村平均三千元、計三萬圓を計上、是等の工事は八月一日より着手して盆前には竣工の豫定であるが入遠野村御齊所峠の延長五百米に亘る縣管道路改修工事も工費二萬圓で同じ明日より着手される等農村民が待ちあぐんだ盆前的小遣錢稼は一齋に開始されると

### 鋪裝用の

#### 諸機械を待つ

基礎工事は既に終る、既報平町二丁目常磐銀行前から驛前に通ずる縣道鋪裝は本月上旬着手以來第一期工事の測溝及び暗渠は既に

### 産馬區長

#### けふ協議會

石城産馬蓄産聯合は本井一日午前十時から団体事務所樓上に各分部區長會議を開き左記諸案を協議した

- 一、後馬獎勵規則に關する件
- 一、馬育成施設獎勵の件
- 一、二ヶ年繼續産駒獎勵の件
- 一、貸付牝馬整理の件
- 一、諸提出書類の件

### 選挙前正の

#### 講演會日割

#### 愈よ今晚から

#### 全町に呼掛く

平町に於ける選挙前正の實際運動は昨報の如く今晚六時(時間勵行)から町會議事堂に開催される選挙法講演會を皮切りに明日一から一週間相互に左記の如く七方面に分割夫々肅正講演會を開催する段取りとなつた各

- △一日 性源寺(區域)
- △二日 平署會議室(鍛冶町 南町 大町)
- △三日 同上(一、二、三丁目)
- △四日 第三校講堂(五丁目 新川町 月見町)
- △五日 立町 鎌田町
- △六日 鐵官 南(鐵)

### 東京短期(本日)

新東	寄付	大引	高値	安値
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇
新新	一三三	一三五	一三二	一三〇

### 平町人事

△南町當時内郷村宇平太郎 涌井經春氏六男貞彦 △胡麻澤大方房吉氏長男隆

田町・丸井株式会社

# 網に掛かつた

## 白米泥の常習犯

### 前科六犯の強か者

#### 大亂闘の未頭部に重傷

平窪村に最近白米泥棒が頻々と出没し農家を荒し廻る。この本月十五日から青年團や消防組が出動警戒中。今晩零時半頃同村中平窪地内で白米一俵を擔いで行く一名の怪漢を消防組の一隊が発見。誰何した處矢庭に逃走を企てたので大亂闘となり怪漢が頭部に全治三週間の傷を受けてひるむ間に取押へ

より平第二小學校で役員會を開き寄附募集打合、出品物督勵に關して協議すると

# 火薬庫を 守れど

## けふの非常召集

### 演習後新舞子に清遊

平署は今晩午前零時を期し突然管内巡査の非常召集を断行した。各駐在所員は早速機を逸せず自轉車を驅つて本署に走せ參じ一時間後には全署員六十餘名悉く集合直ちに柴田署長指揮のもとに左記想定に依つて各炭礦及び附近火薬庫の警備演習を五時間餘に亘つて試み午

最近某國間諜内地に潜入し樞要都市に於ける重要建築物火薬庫の所在を内密に調査し是等を爆發するの企てあるを以て夫々警備警戒を要する旨其筋より電令あり尙重要建築物は各管理者に警備方命令し置きなるを以て不取敢管内炭礦地域内火薬庫の警備に服すべし

## 定員外の 自動車事故

### 罰金百圓に

小名濱町字中坪五〇馬目喜右衛門方鹿島村久保字田の作生れ自動車運轉手鈴木豊太郎(三)が去月五日朝定員十四名の大バスに五十四名の大勢を乗せ湯本驛に向け疾走中玉川村字辰の内地内

## 自動車窃取犯人 悠々白河に現る

### 嚴重な捜査網に感付き 車臺を置き放して逃走

既報平町三丁目并澤自動車店の乗用車(福島四七七號)及び現金廿圓を窃取逃走した元同家の運轉手自稱佐藤興造(三)は其後平署の嚴重な捜査網を潜つて去る廿九日午前六時半頃白河町横町篠崎自動車工場に現れ車の修繕を依頼し朝食して來ると出掛けが嚴重な手配を感付いたが其儘車を置いて

## ダニ公判

### けふ開かる

富岡署のダニ狩にあげられた双葉郡浪江町權現堂字新町雜貨商神奈川縣高野郡生れ元大矢保輔(三)上岡村本岡字南川原小間物商宮城縣登米郡佐沼町生れ元巡査菊

## 嫉妬の斧

### 求刑が六年

嫉妬の手斧を揮つて内縁の妻に重傷を負はせた老木挽石城郡勿來町大字關田字松ケ澤滋賀縣生れ内貴久吉(五)に係る殺人未遂事件の公判は今廿一日午前十時より平支部で中島裁判長係り小林香西兩判事陪席白水檢察立會増田官選辯護士列席の下に開廷被告は殺意を否認したが白水檢察事は多少同

## 眞夏の刑務所

### 二十餘名の收容者が 一筋に指標を

#### 平裁判たより

平刑務支所は年中行事の一つである所内の安全衛生週間を去る廿八日より左の如き日割によつて實施してゐるが現在收容中の二十餘名の收容者は指標として與へられてゐる左記

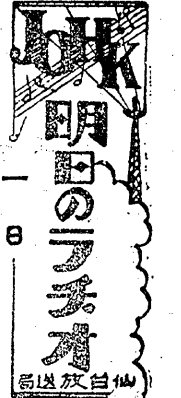
日本精神の把握 感謝生活の向上 勤勞精神の体现 規律觀念の涵養 自治協同の訓練 日常生活の明朗化

六綱領の下に左記日割の如く夫々努めて居ると

七月廿八日清掃日 廿九日整頓日 三十日保健日 卅一日保安日 八月一日規律日 二日協同日 三日反省日

△宮城縣伊具郡大谷村生れ住居不定無職前科一犯黒須定雄(三)は去る廿一日正午頃勿來町關田地内海水浴脱衣場で菅谷某の洋服ポケットより現金四十七錢、同日植田町字臺町鯉沼一雄の洋服ポケットよりクローム腕時計計價格十二圓、現金八十錢外一件の脱衣場荒しを働いた事件は今廿一日平區で公判開廷求刑通り懲役一年の判決言渡しがあつた

△富岡町大字上郡山字原一七七元新聞記者杉本憲一(三)に係る教員暴鳴事件の公判は今廿一日午前九時より平區香西判事係り清田檢察立會で公判開廷懲役四月(求刑八月)の判決言渡さる



今晩は南西の風  
明日は南東の風  
曇晴半す

## 今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「山の不思議」茂木慎雄
- 後六、二五 夏期特別講座
- 全國神社巡り「稻荷神社」
- 京大教授中村直勝
- ◎東西寄席競べ◎
- 後七、三〇 上野鈴本中繼
- 「七段目」蝶花樓馬ノ助
- 「祇園祭」柱文治「前原伊

## 明日の部

- 助「龍齋真山」きめんさん「三升家小勝
- 後八、三〇 大阪北新地花月クラブより中繼
- 漫才「鼻唄」キャンピング「宮川美津子と小松月外數種
- 後九、三〇 時報 ニュース
- 氣象通報 番組豫告
- 前六、〇〇 全國ラヂオ體操の會開會式 京都平安
- 地源四郎(五)兩名に係る公正證書原本不實記載行使詐欺並に業務上横領事件は今卅一日午前九時より平區で小林判事係り清田檢察立會公判開廷されたが結審に到らず辯護士より證人喚問を申請又追訴される模様で次回公判未定

- 神宮前岡崎公園中繼講演「精神作興と」後藤内相
- 前六、三〇 速成フランス語講座 丸山順太郎
- 前七、〇〇 一朝の修養「正信念佛偈」大谷敬潤
- 前七、四一 六年生のおさらの時間 源新治
- 前八、四〇 婦人夏期講習「簡単なお菓子のつくり方」
- 小澤融覺
- 前九、四〇 汎太平洋新教育會議開會式實況
- 前一〇、三〇 家庭講座「洗濯と漂白」菱山衛平
- 後〇、〇五 漫談「八月のこよみ」西村小樂天

- 後五、三五 講演「東北地方の古歌謡」武田祐吉
- 後六、〇〇 子供の時間
- 偉人物語「八月生れの偉人」鶴見祐輔
- 後六、二五 運動講座「都市對抗野球各チームの陣容」橋戸頑鐵
- 後七、三〇 講演「少年と野外生活」齊藤實
- 後七、四五 講演「風日祈祭に就て」坂本廣太郎
- 後八、〇〇 管絃樂「公園奏樂三十年記念演奏」
- 後八、三〇 浪花節「江戸の華神田松」早川燕平
- 後九、一〇 名作朗讀「青砥稿花江紅彩畫」岡鬼太郎

# 明治太平記

（作）寺島雄史  
（監）野口



第百八十九回

空葛籠 (六)

「ちや、同じ日本人ね。日本人なら、わたしが、毛唐のためにこんなに苦しめられてゐるのを黙つてみて？」

「そのふたがよくできるのねえ」

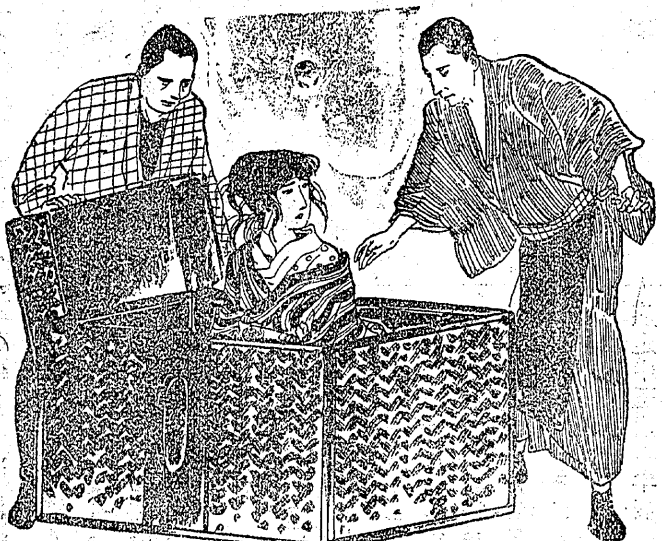
「いやなことをいふな。おれたちは何も好き好んでこんな仕事を引受けたんぢやねえ。みんな食ふためなんだ」

「食ふためには、毛唐のどんな指圖にでもしたがふといふの」

「お、おまへだつて、らしやめんぢやねえか」  
人足風のが、くやしさをに反駁した。

「らしやめんでも、まあだ操までうりやしないわ」  
「へえ、ウエルズさんを振つてゐるのかね、なあるほど、それでウエルズさんがやきもきするといふ次第だな、なあるほど……」

これは、商人風の男の、溜息に似た咳きだつた。  
「ね、あんた方、同じ日本人ならあたしを助けて、



「え？」  
「そのふたをせずに、わたしの身體を自由にしてくださいな」  
「そ、そりやあ、できない相談だ」  
「なぜ？」  
「なぜときく奴こそふしぎだ。つまり、お前さんを助

「さア、いゝから、ふたをしておくれ」  
おとわはふた、び眼をつぶつた。けたもの、やうな

「さ、助けたいのだがおまへさんを助けて、おれたち二人が殺されたんぢやあまへさんだつていゝ氣持はしないだろ」  
なるほど……と、おとわはおもつた。  
「だから、とにかくふたをさしておくれ、そのかはりにほかのことなら、何でもしてやる」  
「たとへば誰かに言つてがあるか、かほかの人にたすけに来て貰ひたいから、一走りいつて来てくれとかそんな用ならいくらでもたしてやらう」  
「さうね……けど、いま更らあの人に言つてをしたつて……」

けてやつたら、おれたちの首が飛んじまふわ」  
「だからつて、あたしが支那へさらはれていくのを、みすゝ、見送るつもり……？」

「そ、それどころか、いまこのふたをして、麻縄で

「いや、助けたいのだがおまへさんを助けて、おれたち二人が殺されたんぢやあまへさんだつていゝ氣持はしないだろ」  
なるほど……と、おとわはおもつた。  
「だから、とにかくふたをさしておくれ、そのかはりにほかのことなら、何でもしてやる」  
「たとへば誰かに言つてがあるか、かほかの人にたすけに来て貰ひたいから、一走りいつて来てくれとかそんな用ならいくらでもたしてやらう」  
「さうね……けど、いま更らあの人に言つてをしたつて……」

絶好の御買時

7日間  
7月30日 8月5日

贈るに御便利  
三井の商品券  
受けて重寶な

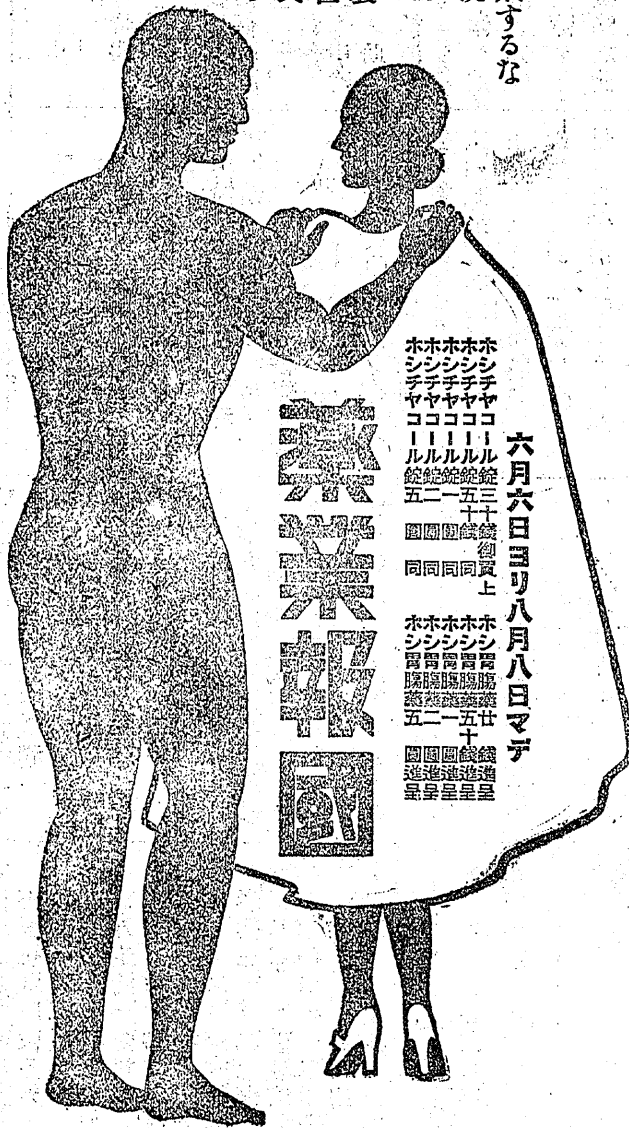
夏衣全店一掃大賣出し

思ひ切つた値段清新なる商品全店に充滿致して居ります  
御中元の贈物御仕着せ用品にこの期を撰んで多大の御用命を偏に御願致します。

京染ジヨゼット	一・八〇
新着尺モスリン	二・五〇
紺上等ポイル	一・二〇

均一臺一圓。  
一圓五十錢、二圓

三井呉服店  
電話二八四番



同胞よ、断じて病氣するな断じて世界一となれ  
勇氣、斷行、進取は健康より來る

此夏は断じて病氣するな  
ホシチヤコール錠  
ホシチヤ胃腸薬に  
依つて、  
日本を世界一の製  
薬國たらしめ、世  
界一の元氣な國民  
たらしむるホシチ  
の感謝として

六月六日ヨリ八月八日マデ

ホシチヤコール錠三十錠	同	ホシチヤ胃腸薬廿五錠	同
ホシチヤコール錠五十錠	同	ホシチヤ胃腸薬卅五錠	同
ホシチヤコール錠六十錠	同	ホシチヤ胃腸薬五十錠	同
ホシチヤコール錠八十錠	同	ホシチヤ胃腸薬六十錠	同
ホシチヤコール錠九十錠	同	ホシチヤ胃腸薬七十錠	同
ホシチヤコール錠百錠	同	ホシチヤ胃腸薬八十錠	同
ホシチヤコール錠百二十錠	同	ホシチヤ胃腸薬九十錠	同
ホシチヤコール錠百五十錠	同	ホシチヤ胃腸薬百錠	同
ホシチヤコール錠二百錠	同	ホシチヤ胃腸薬百二十錠	同
ホシチヤコール錠二百五十錠	同	ホシチヤ胃腸薬百五十錠	同
ホシチヤコール錠三百錠	同	ホシチヤ胃腸薬二百錠	同

星製薬株式会社  
ホシチヤエーヌストア